

事業評価書

<掲載事業について>

ページ	事業名	区分
1	計画的な財政運営	総合計画 共-2-(1)
2	新地方公会計制度の導入・推進	総合計画 共-2-(4)
3	魅力ある情報発信	総合計画 共-3-(1)
4	駅周辺の活性化	総合計画 2-1-(2)
5	一圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
6	穂積駅周辺地域の商業活性化	総合計画 5-2-(1)
7	地域資源のブランド創出・魅力向上	総合計画 5-3-(2)
8	瑞穂市中山道団子化構想事業	総合戦略
9	確かな学力を育成する教育の推進	総合計画 4-2-(4)
10	教職員の指導力向上の取組の充実	総合計画 4-2-(6)

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞穂市

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	計画的な財政運営		担当課	財務情報課
評価	有効であった	13件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年見直しされることは効果的である。 ・ 財政シミュレーションは有効である。 ・ 財政力が健全であることは理解できた。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画と KPI の関連性が分かりづらい。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の活用、展開を望む。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政力指数とは。これにはどのような意味があるのか。 ⇒ 地方公共団体の財政力を示す指数となっており、この数値の実数が高いほど財政力が強いことを示す。算出方法は、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均となっている。それが1以上であれば、国からの地方交付税を受けなくてもできるという判断になる。 ・ 実質公債費比率これはどのような意味があるのか。 この率が高いほど財政運営が硬直化しているということを示す。当市においては県内でも40番目、42市町村の中で40番目と低い状態で財政運営を行っている。 ・ 財政シミュレーションの歳出の見通しについて、普通建設事業費が令和11年度から37億、令和12年度37億、令和13年度41億となっているが、これは新庁舎に関するものなのか。これに補助金はつかないのか。財源は一般財源なのか。起債なのか。 ⇒ ご質問のとおり、新庁舎に関わるもの。現在審議会でも審議中のため建設費のみの計上。費用としては、毎年2億円ずつ基金に積み立てている。30億円については基金で活用、あとは起債の予定。可能な限り補助金がもらえるよう財源の確保について努めていく。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	新地方公会計制度の導入・推進		担当課	財務情報課
評価	有効であった	13件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国統一された基準で見える化は良い。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の財政に対して、市民がどれくらい関心を持っているか分かりにくい。 ・ 非常に効果的であるかは疑問。 ・ 評価指標の見直しが必要。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成され、それをどう活用していくのかが今後必要。 ・ HPへの記載も多く市民の方への周知も必要。 ・ 他の自治体との比較も説明がほしかった。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公会計制度の導入の一番のメリットは何ですか。 ⇒ 新地方公会計制度は全国統一した基準で財務諸表を作成することになっているため、全国の自治体との比較ができることが一番のメリットだと考える。 ・ 財務4表はいつから作成されているのか。 ⇒ 当市では、平成20年の決算に旧基準モデルというもので作成している。平成28年度の決算からは、統一的な基準により財務4表を作成しており、それより毎年作成している。 ・ 債務償還年数が減っていることは、市民が豊かになっていることなのか。 ⇒ これだけで豊かになっているとは言い切れないが、市民の負担が少なくなっていることは評価している。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	魅力ある情報発信		担当課	総合政策課・議会事務局
評価	有効であった	13件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の内容の検討などをはじめ改善されていることが伝わった。 ・ 何時も楽しみにしている。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ周知されているとはいづらい。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も瑞穂市の魅力をより伝えてほしい。 ・ Facebookに限らず、TwitterやInstagramの方が活用頻度は高いことから、積極的に活用してほしい。 ・ 若年層へのアピールを推進してほしい。 ・ よりよい広報紙を作成してほしい。 ・ 情報に対する閲覧時間は減少していることから、文字よりも写真を。 ・ 身近な人から発信してみたいか。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook以外のSNS等の媒体への展開は検討されているか。 ⇒現段階ではFacebook以外のSNSには手が広げられていない状況である。 ・ フォロワー数をどうやって増やしていくのか。宣伝方法などは。 ⇒市の魅力的な風景や行事など、更新回数を増やすことや中身の充実度をあげることでフォロワー数の増加につなげたい。 ・ 市の魅力も良いが、その市にいる人の魅力も発信してはどうか。 ⇒これまで個人を取り上げてはいなかったが、今年度に入り、市出身の画家の方や近隣市町から来ていただける方を取材する機会があるので積極的に取り上げたい。 ・ 41回の投稿がありますが、市は多いとみているか、少ないとみているか。 ⇒一般には少ないかと思われるが、様々な業務と並行しながらの中ではできているかと思う。今年度は20周年ということで掲載する記事も多いため、更新回数を増やしていきたいと考える。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	駅周辺の活性化		担当課	穂積駅圏域拠点整備課
評価	有効であった	13件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年後、10年後の構想が感じられた。 ・ 様々な取組みにより、活性化されている。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年内予算が計画規模に見合っていないように感じる。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面で駅前の状態が早く改善されることを期待する。 ・ 限られたスペースですので有効活用に期待する。 ・ 洪水等のハザードマップでは駅周辺も水没することになっているため、計画段階から対策が必要。 ・ 時間がかかりすぎ、もう少し短縮する方法を考えてほしい。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別府交差点は何年計画で完成なのか。 ⇒今年度より3年をかけて行う予定。 ・ 地元の話し合いで、Aエリア・Bエリアを行き来するのに北方多度線へ出ず、直接の幹線道路という話が出なかったのか。 ⇒南北をつなぐ道路に関しては、整備基本計画や研究会で議論されたが、列車運行と供用しながら、穴をあけてトンネルを抜くのは多額の費用が嵩む。それよりは駅北、駅南の機能を充実させ、それぞれの方向から来た場合にそれぞれの方向に帰る流れを作ること、通過する車両を減らせるだろうとの見解から今の基本計画の形となっている。 ・ 令和5年度はもう用地買収はないのか。令和5年度事業費がないが。 ⇒直接の用地買収ではなく、機能改善事業ということで将来プラスできるような用地を確保していきたい。令和5年度には直接の用地費はないが、令和4年度から5年度にかけて用地買収は行っている。繰越の1,100万円がその費用である。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合戦略	圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業		担当課	総合政策課
評価	有効であった	13件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	2件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・市が熱心に取り組んでいることが伝わった。 ・非常に良い取組みを行っている。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・発信力がもう少し必要。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを有効活用し、多くの人に周知し盛り上げてほしい。 ・市民が駅周辺の改善にとっても関心があると思う。 ・駅利用者が満足できるような飲食店やテイクアウトを充実させてほしい。 ・インスタグラムを活用し弁当市やほづみ夜市の周知を図ってほしい。 ・エキサイトのFacebookは頻繁に更新しているため、市のFacebookもシェアをした方が良い。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点化構想のPR取組みにおいて、公式SNSでの情報発信とありますが、これは市の情報発信と同一アカウントなのか。 ⇒市のホームページとは別アカウント。NPO法人エキサイトのSNS。 ・同じアカウントにした方がたくさん発信できるのではないかと。なぜ分けられているのか。 ⇒将来的にエキサイトはNPO法人として自立していくことを考えている。今は地方創生の国の補金を活用して、来年度までに自立の支援を図っていく。したがって市とはアカウントを分けている。今後、市もエキサイトのイベントとは連携を行い、市のFacebookなどでもエキサイトや駅周辺の情報を発信していく。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	穂積駅周辺地域の商業活性化		担当課	商工農政観光課 総合政策課
評価	有効であった	12件	92%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	8%		有効とはいえない
	欠席・棄権	2件			
コメント	良かった点	・ 目標の達成率は評価できる。			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の方向性を具体的にしてほしかった。 ・ 投資に対する効果が明記されていない。 ・ R4年度で事業が終了してしまえば、その後の追跡調査もできない。創業者の支援もできない。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業だけではなく、事業継続支援にも注力してはどうか。(廃業も多いので) ・ 育成支援事業の継続は必要かと考える。 ・ コロナの影響もあるが、今後に期待したい。 ・ 駅前を中心ににぎわいのまちづくりを望む。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業小規模事業活性化補助事業の実績が 40,550 千円となっているが、説明の中では 39,000 千円であったがこの差異は何か ⇒この差異は中小企業診断士の手配などの事務を商工会にお願いしており、商工会に支払う事務費である。 ・ 創業者が10名とあるが、具体的にどのような業種か ⇒ネイルやエステなどの美容系。加えて、コロナ禍もあってパーソナルジム、ネット通販もあった。 ・ 40,000 千円の補助金に対してどのくらいの効果があると把握されているのか。生産性の向上や経営の効率化など。最終的には振り返ることが必要かと思うが、予定されているのか。 ⇒この事業は最初に計画書を提出いただく。その時に詳細の計画書の中でKPI、目標数値を掲げ、取り組んでいただいた。事業が終わった後に取り組んでどうだったのかをKPIの実績値を出してもらったが7、8割ぐらいの方が達成できていた。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	地域資源のブランド創出・魅力向上		担当課	商工農政観光課 総合政策課
評価	有効であった	14件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	1件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・サンコーパレットパークの土日祝は多くの方が訪れていて良い。 ・ふるさと納税でのすなみ柿PRは良い。 ・ブランド戦略は有効。 ・グーグルマイマップの内容がおもしろい。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの特殊な事情があるとはいえ、KPIの達成には疑問。 ・費用対効果が見えない。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・美江寺まつりの活性により、魅力度アップを期待したい。 ・中山道、サンコーパレットパーク周辺PRのグーグルマップのQRコードをもっと目にしてもらえるようなPRが必要である。 ・閲覧数が伸びるように取り組んでほしい。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の実績の地域ブランド戦略事業414万円は、特産品のPRに使われたのか。 ⇒414万円の260万円についてはみずほピクニックのイベントの開催費用となった。残りの150万円についてはメディアを活用したプロモーション業務ということで、事業者と連携し庁舎にデジタルサイネージを設置し市の施策やPRを流した。また、事業者の所有するテレビ付きの車メディアランナーを活用し駅前での市の魅力を発信した。そのような取組が414万円の使い道となる。 ・アンケート調査があるが、令和3年、4年は行わなかったのか。その理由は。 ⇒アンケートについては美江寺の宿場まつりのアンケート数字でKPIを挙げている。 令和3、4年度とイベント自体が中止になっており、アンケートが実施できていない。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	瑞穂市中山道団子化構想		担当課	生涯学習課
評価	有効であった	13件	92%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	1件	8%		有効とはいえない
	欠席	1件			
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題が明らかになっている。 ・ 広場でのイベント集客は評価できる。 			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想の策定は評価できるが、内容は評価できない。 ・ 民間活動団体が少ない。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の動きに期待したい。 ・ 環境整備の充実に努めてもらいたい。 ・ 中山道まちづくり通信のご意見、アイデア全体まとめにとてもいい意見がたくさんあると思う。 ・ 市民の立場になり1つ1つぜひ実践、実現してほしい。 ・ 指定管理者を進め、軌道に乗せてほしい。 			
	主な質疑と それに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標指標のイベントの回数の数え方は。 ⇒この目標指標に対してのイベントは地方創生の集客イベントを定義しており、地元のゲートボール大会などではない。 ・ 地域横断組織に加入した事業、民間活動団体の数は2しかないのか。 ⇒団体としては2しかないが委員としては20名ぐらいいる。個人の身分で参加していただいている方が大半である。 ・ 令和5年度は予算が増えているが、令和6年度は減っている。アクションプランによると令和6年度以降に新たな事業が増えていくように見えるが、予算は増えていなくてよいか。 ⇒令和6年度は500万円になっているが、指定管理者を導入して、効率的な運営に努め、経費をできる限り下げたいとの思いから事業費を下げている。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	確かな学力を育成する教育の推進		担当課	学校教育課
評価	有効であった	14件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	1件			
コメント	良かった点	・よく分かると思える児童が80%程度になったことは評価できる。			
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTをどれくらい子どもたちがうまく活用できているのか、うまく活用できていない子に対する支援サポートはどのようにしているのかが分からない。 ・R1年度からの変化が分からない。 ・GIGAスクール構想以前との比較がほしい。 			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことは分からないと言える学校環境であってほしい。 ・ICT活用によって、目標指標の向上を図ってほしい。 ・不登校やテストが受けられない子どもなども指標に入れるべき。 ・ICTが本当に子どもの生きる力になるのか、未来を検討していただきたい。 			
	主な質疑とそれに対する回答	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力テストを行ったときの質問紙調査での%があるが、今不登校の子や学校に行けていない子は参加しているのか ⇒不登校の子については個別に保護者の方と実態に応じて学力状況調査をどのように取り組むかを相談している。中には家庭で保護者の方に見ていただきながら取り組む子もいる。また、実際に受けていない子もいるため、受けた子の割合になる。 ・8割以上の子が授業をよく分かるかと回答しているが、この数字は正しいと判断しているのか。 ⇒実際に理解できているとはまた違う。子ども自身が授業を楽しんだとか、項目が多数ある中で、学力に関わる部分で授業について子どもがどう感じているのかの調査結果である。 			

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合計画	教職員の指導力向上の取組の充実		担当課	学校教育課
評価	有効であった	14件	100%	評価 まとめ	有効であった
	有効とはいえない	0件	0%		有効とはいえない
	欠席	1件			
コメント	良かった点	・先生方の勤務改善に取り組まれている。			
	悪かった点	・子どもだけのアンケートではなく教員の意見も開示してほしい。 ・どのくらい勤務時間が減ったかなど指標で示してほしい。			
	提案・要望点	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の働きやすい環境を目指してほしい。 ・教職員の勤務時間の削減する取組みに尽力してほしい。 ・教職員の自己評価、保護者の自己評価を目標指標に入れると良い。 ・教員の業務量が多いため、支援を手厚くしてほしい。 ・子ども楽しいと感じる教育を望む。 ・目標指標の変更を望む。 			
	主な質疑と それに対する回答	<p>・令和4年度実績において、それぞれ費用があるがどのような内容のものか。 ⇒教職員研修の実施に関しては、先生方の研修をより充実させるために講師を呼んでいる。その謝礼金。また、教職員の働き方改革3ヵ年計画がある。この中の人的支援、時間を生み出す支援、物的支援といった中で勤務環境を改善するにあたって、プリントの印刷や先生方のサポートするスクールサポートスタッフ、学習支援員といった方の人件費が中心となる</p> <p>・目標指標について、生徒側のアンケートではなく、先生方自身の思いや研修の内容についてなど、先生側のアンケートはないのか。 ⇒研修の際には、研修についてどうだったのか、学校で活用できるか、自分の指導力向上に役立ったか等のアンケートを実施している。結果を受け、次年度の研修をどのように構築していくかの参考としている。よって研修別にアンケートを取っている集計のため、それを全てまとめて教職員研修の指標とするのは難しい。</p>			